

ご寄附のお願い

iPS細胞による再生医療等の技術開発応援プロジェクト ～京都府ふるさと納税型クラウドファンディング～

難病等に苦しむ世界中の人々が待ち望むiPS細胞技術の未来を拓くため、iPS細胞を活用した再生医療やワクチン・創薬の研究開発等の推進、関連するライフサイエンスやAI・IoT等スマート技術にかかわる京都大学等の研究者や企業の育成に産学公連携で取り組み、iPS細胞の技術開発を核に京都のイノベーション推進を目指し、ふるさと納税型クラウドファンディングによる寄附を募ります。

皆様からの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

目標金額：2,200万円 寄附受付期間：2020/10/28～2021/1/31

◆寄附金の使い道

(1) iPS細胞技術を活かした再生医療等の推進、関連産業の振興 <(公財)京都大学iPS細胞研究財団を通じた支援>

がんを含む生活習慣病等の患者様をはじめ、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの難病患者様、臓器移植が必要であってもドナーが足りず待機を余儀なくされている患者様など、今この瞬間も、世界中で多くの方々が病気や怪我で苦しんでおられます。

その解決策の1つとして大いに期待されているものが、京都大学の山中伸弥教授の研究グループが開発されたiPS細胞です。ヒトiPS細胞の樹立が発表されてから10年以上が経過し、多くの研究者、企業の努力や患者様の協力によりiPS細胞を使った技術で新しい治療法の開発が進んでいます。

しかしながら、一層の臨床応用の実現には、安全性、品質、製造時間・費用等の面で乗り越えねばならない「壁」が依然として存在しており、研究者・企業どうしの垣根を越えた情報共有を図り研究開発を加速化するとともに、安全性・品質のたしかなiPS細胞をストックすることで製造時間・費用の縮減を図るなどの新たな仕組みが不可欠です。

そこで、研究者・企業間の「橋渡し」を担う中心的機関として、iPS細胞の製造設備・ストックを全国の研究者、企業に対して公平かつ最小限の価格で提供する取組を開始した「(公財)京都大学iPS細胞研究財団(iPS財団)」の活動を応援することで、全国のiPS細胞関連の研究開発を飛躍的に加速化させ、iPS細胞を用いた再生医療、創薬など臨床応用の早期進展を促進します。

(2) AI・IoT等のスマート技術関連企業の支援 <「テーマ募集型社会課題解決プロジェクト事業補助金」による中小企業等の支援>

あわせて、iPS細胞技術の開発や様々な社会課題の解決を支えるAI・IoTなどのスマート技術の研究開発を行う中小企業、スタートアップ企業を支援することで、京都のイノベーションの加速化を促進します。



◆京都で進むイノベーションの輪

(◆のついた団体が、本プロジェクトの支援先となります。)

◆(公財)京都大学iPS細胞研究財団(iPS財団)

iPS細胞の製造や品質評価などの技術を産業界へと「橋渡し」する機能を担うため、京都大学iPS細胞研究所(CiRA)から一部の機能を分離する形で2019年9月6日に設立され、2020年4月1日に公益認定されたものです。その中心である細胞調製施設(FiT)では、安全性の高いiPS細胞を製造・備蓄し、全国の研究者や企業に提供しています。

【iPS細胞関連の開発を行う京都のスタートアップ企業の例（本プロジェクトの直接の支援対象ではありません）】

● 患者さん由来iPS細胞を用いた難病疾患モデルの開発 ＜株式会社 幹細胞&デバイス研究所＞

世界には未だ有効な治療法のない難病に苦しむ患者さんがたくさんいます。

国家戦略特区での事業認定により、患者さんの血液からiPS細胞を作成、同社独自技術の配向性ファイバーを培養足場に用いて、筋肉や神経系細胞へと分化誘導することで、各種難病の発症メカニズムの解明や治療薬候補の探索への応用を目指しています。

● iPS細胞由来のウイルス研究用の培養細胞を無料提供 ＜マイキャン・テクノロジーズ株式会社＞

熱帯地域を中心に依然として多くの罹患・死亡者が発生するマラリアなどの感染症。感染地域は途上国が多く古い設備、技術で研究しているため、新薬開発が進んでいません。

同社はiPS細胞を用いて研究を促進させる血球細胞を大量・安価に作り出すことに成功しました。新型コロナウイルス感染症についても研究促進のため、独自に血球細胞を開発。1日も早い解決支援のため、研究機関に無償提供しています。

● iPS細胞技術を用いたがんに対する再生免疫細胞療法 ＜サイアス株式会社＞

主に血液がんの治療にめざましい効果をあげている免疫療法。しかし末期がん患者の多くは、がんを攻撃する免疫細胞が少なかったり機能が低下しており、その効果は一部の患者に限定されます。

同社はiPS細胞技術によって、最新の免疫療法でも困難な固形がんの末期患者にむけて、元気な免疫細胞を、たくさん再生し、繰り返し投与することで治療を目指す、個別化された免疫療法の開発を進めています。

● iPS細胞で実現する輸血医療「第2のイノベーション」 ＜株式会社メガカリオン＞

輸血は最も基本的な治療手段であり、医療を支える重要なインフラとなっています。しかし輸血に必要な血液は献血に頼っていることから、少子高齢化が進む先進国では将来的な献血不足が懸念され、途上国には安全な血液の確保が難しい国があります。

こうした中、メガカリオンは最も需要の見込まれる血小板に着目し、ヒトiPS細胞由来の血小板製剤の開発を進めています。

◆テーマ募集型社会課題解決プロジェクト事業補助金

人口減少や技術革新による産業構造の変化等に伴う、社会福祉・子育て支援・教育対策、地域経済の活性化、防災対策等の社会課題の解決に資することを目的に、AIやIoT等のスマート技術を活用した新しいサービスや技術の開発を行うスタートアップ企業等の支援として補助金を交付するものです。

◆寄附の方法

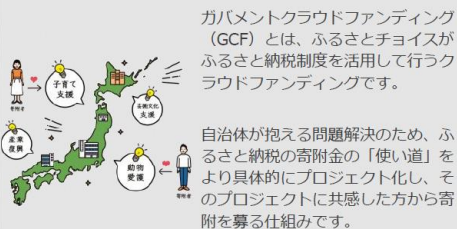
ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」からお申込みください。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/971>



ガバメントクラウドファンディングとは？

使い道に共感しふるさと納税を利用して行うクラウドファンディング



※GCFの詳細はこちら：<https://www.furusato-tax.jp/gcf/about>

ふるさと納税とは？

「あなた」と「ふるさと」をつなぐふるさと納税



ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度のことです。手続きをすると、所得税や住民税の還付・控除が受けられます。

ふるさと納税は、自分の選んだ自治体に寄附を行うと、**控除上限内の2,000円を越える部分**について税金が控除されます。

※ふるさと納税の詳細はこちら：<https://www.furusato-tax.jp/about>

◆お問い合わせ先

京都府商工労働観光部ものづくり振興課

TEL:075-414-4853 FAX:075-414-4842 Email:monozukuri@pref.kyoto.lg.jp